

子どもと高齢者のインフルエンザワクチン接種費用を助成します

今年もインフルエンザが心配な季節になってきました。インフルエンザの予防には、うがいや手洗いの励行、体調管理が大切であり、さらに、ワクチン接種は予防や重症化を防ぐには有効とされています。

町では、インフルエンザワクチン接種について、1歳から中学生までのお子さんと65歳以上の高齢者に、接種費用の一部助成を行っています。

県内のほとんどの医療機関で接種できますので、早めに予約し接種しましょう。



◎子どもの助成

■対象者と回数

- ① 1歳から12歳まで……………2回接種
- ② 13歳以上の中学生……………1回接種

■自己負担 1,000円

※ただし接種費用が下記の助成額上限を超えた場合、超過分は自己負担となります。

■助成額 1回目は2,000円、2回目は1,500円を上限に助成します。

※生活保護世帯の場合、おさんは、1回目は3,000円、2回目は2,500円を上限に助成します。

受給券が必要になりますので、健康福祉課に申請してください。

◎高齢者の助成

■対象者

- ① 65歳以上
- ② 60歳以上65歳未満の方で、心臓、じん臓または呼吸器の機能に、自己の身の周りの日常生活が制限されるなどの障がいのある方

■回数 1回のみ

■自己負担 1,000円

■助成額 2,000円

※生活保護世帯の方は無料で受けられます。受給券が必要になりますので、健康福祉課に申請してください。

行政区回覧チラシに掲載しました子どものワクチン自己負担額に誤りがありました。おわびして訂正します。

健康福祉課 ☎ 72 - 6934

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

◎インフルエンザの予防について

今回は、当病院の小児科非常勤医師、菊田 敦(きくた あつし)医師からインフルエンザの予防と対策についてお知らせします。

今年もまた、インフルエンザの流行の季節が近づいてきました。改めて予防と対策について次の5項目を確認しましょう。

①流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは接種してから効果を発揮するまで約2週間かかります。流行前に接種することにより感染の予防と、かかった場合の重症化防止に有効とされています。

②外出後の手洗い、うがい

手洗いは指先などに付着したウイルスを除去するために有効な方法です。うがいはのどの乾燥を予防し感染予防に有効です。

③適度な湿度を保つ

ウイルスは乾燥を好みます。また、のどの乾燥は粘膜の抵抗力を低下させます。加湿器などで室内の適度な湿度(50~60%)を保ちましょう。

④栄養と休養

体力を付け、抵抗力を高めることにより感染しにくくなります。

⑤人ごみを避ける

インフルエンザが流行してきたら、お年寄りの方

や慢性疾患をお持ちの方は人ごみへの外出は控えましょう。やむを得ず外出する方は不織布製マスクをかけると、ある程度予防効果に役立ちます。

インフルエンザの予防に努め、症状が出たら早期受診を心掛けましょう。

◎平成22年度の決算状況について

当病院では平成20年度策定の病院改革プランにより、無駄のない効率的病院運営を図ってまいりました。平成22年度は、運営責任をより明確にするため、従来、構成市町村長の代表者が担っていた運営責任者を新たに病院内に設け、職員一同が地域医療充実のため努力してまいりました。

平成22年度の決算状況は収入12億9,639万7千円に対し、支出が13億2,558万9千円となっており、収支差引で2,919万2千円の赤字決算となりました。

入院患者の増加などから、収入は増加しつつありましたが、震災の影響により、旧病棟などが一時使用できず、収入総額が大幅に減少したことが、赤字決算の大きな要因となっています。

表. 過去3年間の決算状況

(単位：千円)

年度	収入	支出	収支差引
平成20年度	1,289,766	1,233,124	56,642
平成21年度	1,271,684	1,247,626	24,058
平成22年度	1,296,397	1,325,589	△29,192